トレンダーズ
経沢香保子
女性起業家アルバム

中小企業の事務代行業務で子育てと仕事の両立を実現

YPP●五味渕のり子 社長

「ご自身の苦労に基づいた〝子供を持つ女性のための職場作り〟という強固な企業理念が最大の武器。五味渕（ごみぶち）社長の強い信念が、いい顧客といい従業員を呼び込んでいます」

（トレンダーズ／女性起業塾　担当講師）

子を持つ女性が安心して働ける

YPP（東京都台東区）で広告会社の事務代行を担当する斉藤信子さん。請求書を発行したり、支払いのために銀行に行ったりと、平日の午前10時から午後4時まで働いている。前職で経理畑を歩んでいた斉藤さんは、簿記の知識を生かしてまた働きたいと思っても、この会社に入る前は子供がいるためになかなか思うようにならなかった。

YPPでは、社員の9割が子供を持つ女性だ。「朝は遅く始まり、夕方は早く終わるので、保育所の送り迎えも余裕で間に合います。終業時間に終わらせるため、仕事に集中しています。子供が熱を出して急に休むことになっても、周りが子持ちのため〝お互い様〟という環境になっています」と斉藤さんは話す。

子育てをしながら仕事をする女性が困ることの1つが、子供の突然の病気だ。保育所は発熱した子を預かってくれないし、会社はそうそう休めない。頼れる実家も親戚の家も近くになければ、まさに八方ふさがりだが、YPPでは、こんな時にも気兼ねなく休むことができる。

中小企業の事務代行サービスを業務とするYPPは、「子供を持つ女性が安心して働ける職場作り」を社是とする。自らも子育て中の五味渕のり子社長が2005年に立ち上げた会社だ。

今にいたるには紆余曲折があった。五味渕社長は新聞社での広告営業の経験を生かし、営業研修を中心にしたコンサルティング業を個人で始めた。軌道に乗った頃に出産し、半年ほどは育児に専念した。そして、再び本格的に事業展開をしようとYPPを設立し、営業研修に注力したが、子育てとの両立は想像以上に困難で、たちまち板挟みになった。

「子供が急に熱を出したら……。そう考えるだけで仕事が手に付かなくなるんです」と五味渕社長は当時の心境を吐露する。仕事が入り、スケジュール帳が埋まるにつれ、不測の事態に対応する余地も消えていく。企業相手の営業研修では、いったん取り決めた日程を子供の急病を理由に再調整することは不可能だ。「仕事が入るとうれしい半面、不安にもなりました。まるでアクセルとブレーキを同時に踏んでいるような心境でした」（五味渕社長）

Profile●五味渕のり子

埼玉県出身。1990年、立教大学文学部卒業後、地方新聞社に入社して広告営業を担当。2000年に外資系IT（情報技術）ベンチャー企業に転職し、営業マネージャーを務めた後、独立。営業研修をフリーランスで請け負う仕事を始める。出産・育児による休業の後、05年にYPPを設立し、現在にいたる。自身の仕事観・人生観をまとめた『あなたに伝えたい「営業」という経験』（アメニモ刊）の著書がある。

YPP

【所在地】〒110-0004 東京都台東区下谷3-10-11 NYビル7F
【TEL】03-5824-1558
【FAX】03-5824-1559
【創　業】2005年2月
【資本金】300万円
【売上高】1800万円（08年11月期予想）
【従業員数】11人
【事業内容】事務代行サービス業（小規模法人の経理・総務・庶務の代行など）

超多忙な中小企業経営者と働きたい主婦を結び付ける

板挟みにさいなまれる日々のなかで五味渕社長が目を向けたのが、中小企業の事務代行業だ。事務仕事は期限こそ区切られているが、研修のように日時と場所を拘束されることはない。複数が交替で業務に当たっても仕事の質を維持できるため、子供の突然の病気などの対応が容易になる。

ビジネスの可能性も高い。大企業と異なり、総務や経理の専任社員を配置する余裕がない中小企業は多い。社長が自ら請求書を作成し、入金管理や給与計算、各種の支払いなどを行なうケースも少なくない。そのような事務処理に追われていては、経営者ならではの仕事に専念できない。

「顧客側にも板挟みに悩んでいる人がいると気づいたのです。ヤキモキしながらATM（現金自動預け払い機）を操作する経営者の後ろに、働きたいと希望する主婦が並んでいる。その両者を結び付けられないかと思いました」（五味渕社長）

YPPを設立した当時は、五味渕社長が縁故で引き受けていた1社のみを手がけていた。その後、事業方針を転換し、06年には営業研修業を廃止して、事務代行業の拡大に乗り出した。並行して従業員を2人増やし、翌07年には東京・下谷に現事務所を構えた。

子育てママの求人広告に約100人の応募が殺到

〝子育て中のママさんたちのための職場を作る〟という経営理念を掲げてからは、顧客がYPPを見る目が変わった。CSR（企業の社会的責任）活動に力を入れる企業から依頼が来たほか、出資してくれる企業も現れた。さらに、信頼のおける仕事ぶりがクチコミで広がり、契約数が急増。これに対応するため、急きょ、「子育て中のママさん大歓迎」をキャッチコピーに求人広告を出したところ、数日間で100人近い応募が寄せられ、潜在的な求職者の多さが浮き彫りとなった。

現在は、従業員11人、臨時要員23人を確保している。

顧客の会計業務にかかわるため、人材選考では守秘義務を徹底的に守る責任感の強さに比重を置く。過去の勤務経験や簿記の資格の有無に加え、働く意欲やコミュニケーション能力なども入念に見る。

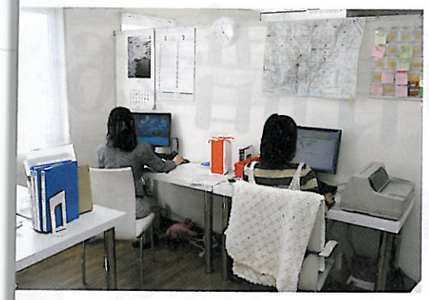
目下の課題は、在宅で働けるシステムを構築すること。子供が保育所や学校にいる時間のほか、就寝後の夜の時間などを活用できれば、助っ人として仕事を依頼している臨時要員の活躍の場を広げられるからだ。

創業年の05年11月期の売上高は200万円。事務代行に専念した06年11月期は450万円、07年11月期は730万円、08年11月期は1800万円を見込み、年々倍増している。信頼関係を築いた顧客からは継続的に受注があるうえ、新規顧客も常時増えている。

売上高が1億円を超えた時点で、支店展開に乗り出す。

「母親である従業員、その子供たち、そしてYPPの三者が一緒に成長していける企業にしていきたいですね」。五味渕社長の朗らかな笑顔の奥に、強い決意がにじんで見えた。

文・横山博之



子供のいる主婦たちが清潔で快適なオフィスで働く（東京都台東区のYPP）。

経沢香保子がみた成功の要因

雇用問題まで踏み込む革新的着眼点

五味渕社長の目はいつもまっすぐ前を向いて輝いている。そんな強い印象を与えます。しかし物腰はやわらかで、常に周囲への感謝の気持ちあふれるステキな女性。彼女は自身の育児の経験をもとに、近くに住むママさんによる事務代行会社、YPPを立ち上げました。

彼女の会社が取り組む雇用のあり方はユニーク。それゆえに生まれたばかりの小さい会社でありながらその社会的意義が認められました。仕事の精度、料金ともにクライアントにとって有用性があるから業績も好調です。まさに日本の雇用問題をプラスに変革させる、イノベーティブ（革新的）な事業だと思います。ビジネス的にも継続性、安定性があるので、今後の地道な営業活動と仕事の精度のさらなる向上によって、ますます発展を遂げるであろうと確信しています。

5月は、1日セミナーがぞくぞく開講！

経沢流経営塾 1日セミナー【男性・女性対象】

会社拡大のノウハウを体系立てて勉強したい方や、実践的アドバイスが欲しい方は必見のセミナーです。

5月11日(日)開催　※男性もご受講いただけます。
「小資本からスタートして会社を拡大する方法」
http://www.w-e.jp/special_seminar.html

女性起業塾 1日凝縮講座【女性限定】

ほかのものには代えられない、自分が大切にする基準である「自分軸」の確認や、起業の基本を1日で学ぶ大人気の講座です。経沢をはじめ、女性起業塾の人気講師、ゲスト講師が勢ぞろい！

5月18日(日)開催　ホームページを今すぐチェック！
http://www.w-e.jp/course_tokyo_8.html

【問い合わせ】
女性起業塾事務局（担当：尾崎）
TEL03-5774-8896　http://www.w-e.jp